

AVACO オンライン講習会 supported by ウェスレー財団

「すくすく育む音楽あそび」

講師：桃原和子（音楽療法士、音楽あそび講師）

イラスト：石橋えり子

1. はじめに

1) 音楽療法の歴史 (\*1)

旧約聖書 サムエル記上 16章 23節

神の霊がサウルを襲うたびに、ダビデが傍らで豎琴を奏でると、サウルの心が安まって気分が良くなり、悪霊は彼を離れた。

2) 音楽療法の視点をういた音楽あそび

目的：楽しい音楽を用いて、子どもの健やかな成長を支える。

(見ること、聞くこと、考えること、自分の意思を伝えることなど  
非認知能力を育てる)

2. 音楽を奏でる前に

1) 視覚・聴覚の両面において、子どもが集中できるように環境を整える。事前に、他の目や耳につくものはしまっておくなど。

2) 見たくなる、やりたくなるような仕掛けや、楽器をカゴに入れるなどの一手間が、子どもの意欲を導く手立てになる。

3. お手本について

カスタネット

・利き手でない方の手の人差し指にゴムをはめます。子どもの手は小さいので、中指より人差し指の方が、収まりが良い。

・利き手の5本の指先を束ねる。子どもには、手をみせ「こうやって集めて、くっつけてね」と伝えるとわかりやすい。



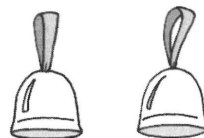
平手で叩くと、力の加減がまだ上手にできない子どもは、固くきつい感じの音になることがある。指先を集めて鳴らすと、音量が大きくなり、優しい音色を出すことができる。

4. 活動紹介

1) ハッピーベル



中国の“碰鈴(ぺんりん)”という  
ひもで繫いだ一对の楽器。



ひもを取り、リボンにつけかえ、1つずつに。  
誰かと一緒に音を鳴らす楽器にする。

※ベルの中は何もないので、1つでは音がしない。

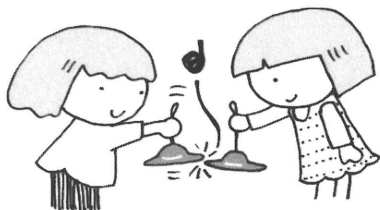
♪ 「いっしょにならそうよ」(\*2)

♪ 「ベルをならしましょう」(\*3)

## ★2人で息を合わせて鳴らす他の楽器

### ・トライアングル

一人が△部分を、もう一人がビーター（金属棒）を持って鳴らす



### ・ベビーシンバル

両手で垂直にひもを持ち、シンバル側面のエッジの部分があたるように、そっと打ち鳴らす。

## 2) トーンチャイム

♪「かみさまのおやくそく」(\*3)

・使用楽器：幹音8音、派生音2音の10音セット

鈴木楽器製作所 (<https://www.suzuki-music.co.jp>)、トーンチャイム HB-100

## 3) ミュージックベル

壊れたら困ると考えがちではあるが、大切なものだから大事にあつかうことを伝えるチャンスと捉えたい。ベルの中で揺れる丸い玉は、子どもにとって魅力的。子どもたちと事前に取り扱いに関するお約束（注意）をしておく。子どもが触りそうになったら、「どうする約束だったかな?」「触りたいよね。触ると壊れちゃうけど、じっと見るのはいいよ」など、子どもの気持ちをくみ取りつつ声をかける。

・使用楽器：C4, D4, E4, F4, G4, A4, B4, C5の7音。単音で購入。

ゼンオン ミュージックベル ゴールド単音：全音楽譜出版社

(<https://www.zen-on.co.jp/music/cbg-27/>)

## 5. 子どもを育む音楽あそび

音楽あそびの活動は、奏法は簡単である。簡単だからこそ自分の音を聴いたり、思いをこめたり、自分が鳴らす音から何かを感じる余裕を持つことができる。音楽や音とたわむれ、感性を育む時の、子どもたちの表情をしっかりと見守っていきましょう。

### \*参考文献

- (1)「標準 音楽療法入門(上)理論編」監修/日野原 重明、編集/篠田 知璋・加藤 美知子、春秋社、1998年
- (2)「音楽療法のためのオリジナル曲集 静かな森の大きな木」編集/生野里花・二俣泉、春秋社、2001年
- (3)「クリスマスのうた」編集/キリスト教保育連盟 幼児さんびか委員会 一般社団法人キリスト教保育連盟、1979年